

構成及び改定の方向性

第1章 はじめに

- ・改定の趣旨及び位置づけ、計画期間の説明

第2章 下水道事業の現状と課題

1. 整備及び維持管理における現状と課題

- ・各項目の実績数値を令和6(2024)年度に修正するとともに、現状として管渠老朽化率や管渠耐震化率を整理

2. 経営における現状と課題

- ・各項目の実績数値を令和6(2024)年度に修正するとともに、類似団体平均と比較し、特に経営改善が必要な項目を整理

第3章 下水道事業の将来見通しと課題

- ・能登半島地震や八潮市内で発生した県流域下水道管に起因する道路陥没事故など、耐震化対策や管路の老朽化対策がより重要となった課題を追加

第4章 経営戦略の基本理念と基本方針

- ・今後10年間の下水道事業経営における基本理念と基本方針を定める

第5章 投資・財政計画

- ・公共下水道ストックマネジメント計画や上下水道耐震化計画、下水道総合地震対策計画に基づく、老朽化対策や耐震化を計画的に進める内容に修正

第6章 経費回収率向上に向けたロードマップ

- ・社会資本整備総合交付金の交付要件を満たす検証を実施

第7章 経営戦略の事後検証・見直し

- ・中間年度となる令和13(2031)年度に見直し

【1. 改定の趣旨】

- ・現行の経営戦略策定から7年が経過することから、これまでの施策の進捗状況や社会情勢の変化等を計画に反映させます
- ・近年の物価上昇や既に実施されている県流域下水道維持管理負担金の単価改定など、現行の経営戦略に反映されていない事象を反映させ、全体の見直しを図ります

【2. 計画期間】

- ・令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間とします

【3. 主な見直しの内容】

第2章 下水道事業の現状と課題

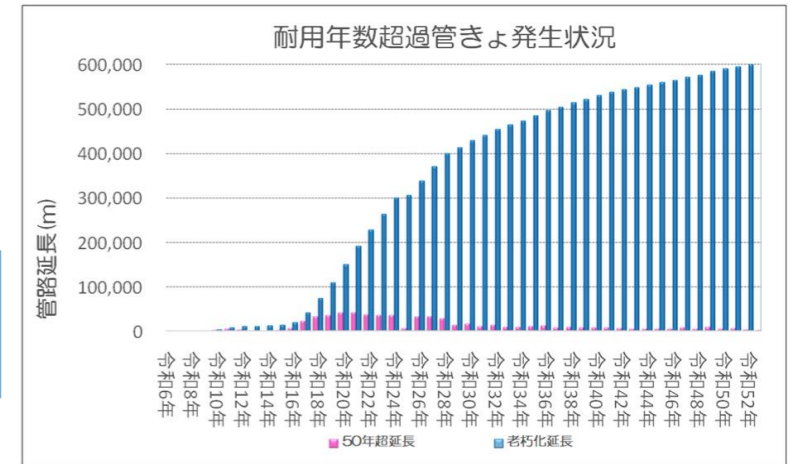
※類似団体は、国が示した区分による県内6団体
(川越市、所沢市、春日部市、上尾市、入間市、三郷市)

1. 整備及び維持管理における現状と課題

(R5年度実績値)

項目	本市	類似団体平均	指標の説明
管渠老朽化率(%)	0.00	10.08	法定耐用年数を超えた管きょ延長の割合を表した指標で、老朽化度合を示しています。基準はありませんが、低い方が良くとされています。

本市は現在、法定耐用年数50年を超えた管渠がないため、類似団体平均と比較して良い数値となっています。しかしながら、今後、昭和50年代に事業着手した管渠が急速に更新時期を迎えることから、計画的な管渠の更新が必要です。



2. 経営における現状と課題

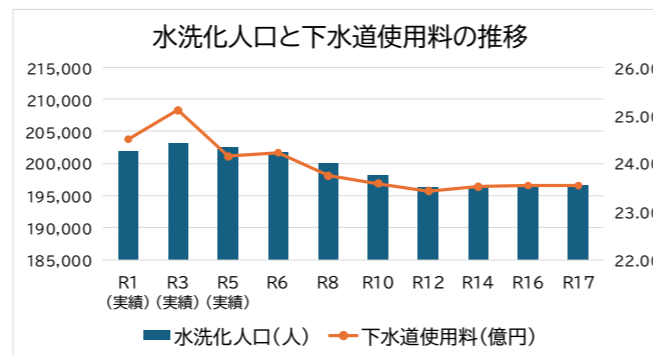
(R5年度実績値)

項目	本市	類似団体平均	指標の説明
経費回収率(%)	88.72	104.14	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標です。高い方が良いとされ、100%以上が望ましい状態です。
企業債残高対事業規模比率(%)	987.29	499.16	使用料収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標です。基準はありませんが、低い方が良いとされています。
他会計補助金のうち、基準外繰入金額(億円)	12.83	4.91	一般会計から、特定の目的のために支出される補助金のうち、本来利用者に請求する部分の金額です。指標としては、低いほど望ましいとされています。

本市は、昭和50年に公共下水道事業に着手し、比較的短期間で整備や普及を図ってきたことから、類似団体平均と比べて、企業債残高が多い傾向にあります。このため、引き続き適正な企業債借入に努める必要があります。また、基準外繰入金の額も類似団体と比較して非常に高いため、他会計（一般会計）への依存度を下げる必要があります。

第3章 下水道事業の将来見通しと課題

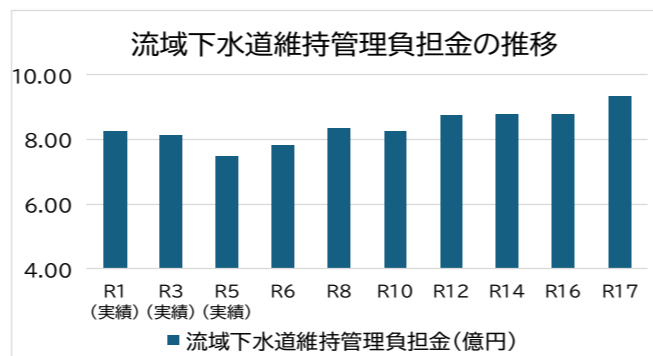
1. 水洗化人口予測と下水道使用料収入の見通し



	R1 (実績)	R5 (実績)	R8	R12	R17
水洗化人口(人)	201,829	202,411	199,914	196,310	196,576
下水道使用料(億円)	24.50	24.14	23.75	23.43	23.54

少子高齢化による人口減少の影響により、水洗化人口及び下水道使用料収入も減少傾向にあることから、減少に対応した事業運営を行っていく必要があります。

2. 流域下水道維持管理負担金の見通し



	R1 (実績)	R5 (実績)	R8	R12	R17
流域下水道維持管理負担金(億円)	8.25	7.47	8.34	8.76	9.36

流域下水道維持管理負担金は、令和7年度から既に改定されており、令和6年度と比較して単価が7.5%増加しました。このことにより、令和5年度決算を基に試算すると、**約6,000万円(税込)の負担増**となりました。また今後も定期的な見直しが予定されているため、負担が増加していきます。

春日部市下水道事業 経営戦略改定（案）の概要

【3. 主な見直しの内容】

第4章 経営戦略の基本理念と基本方針

基本方針（案）

- ① 事業の選択と集中
- ② 財源の確保
- ③ 安定した下水道サービスの提供
- ④ 公衆衛生の向上、公共用水域の水質の保全

第5章 投資・財政計画

・年次別に投資及び財源について実績と計画値を記載（※現在、算定中です）

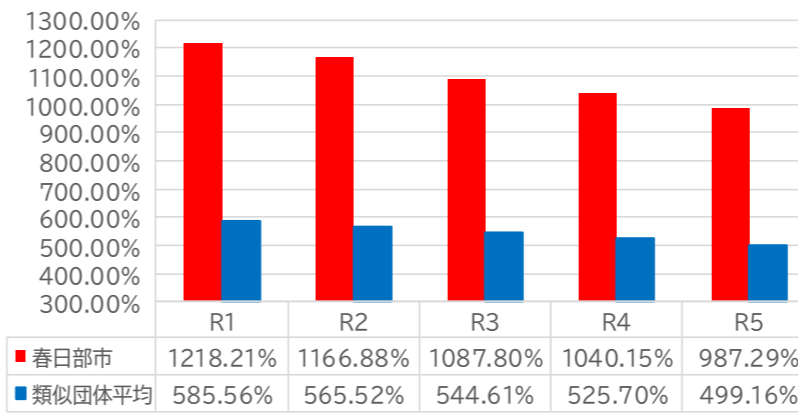
今後10年間の投資計画について

目標①	公共下水道ストックマネジメント計画に基づく老朽化対策を進める
[主な取り組み] 施工後20年以上を経過した管渠にかかる点検・調査及び、その結果に基づく修繕・改築を進める。	
目標②	公共下水道総合地震対策計画に基づく耐震対策を進める
[主な取り組み] 老朽管更新に合わせ、マンホールやマンホールと管路の継手部分の耐震対策を進める。	
目標③	上下水道耐震化計画に位置づけられた、重要施設管路の耐震化を進める
[主な取り組み] 春日部市地域防災計画に定められる病院や避難所等のうち、特に重要な31施設を選定し、そのうち、下水道処理区域内における21施設を上下水道共通の重要施設として、耐震化を進める。	

※ 目標③ 能登半島地震を受け、新たな位置づけとして必要となった計画

今後10年間で、既存計画における老朽化や耐震対策を進めるほか、新たな上下水道耐震化計画に位置づけられた重要施設管路の耐震化も投資計画に加え、実施していく必要があります。

企業債残高対事業規模比率



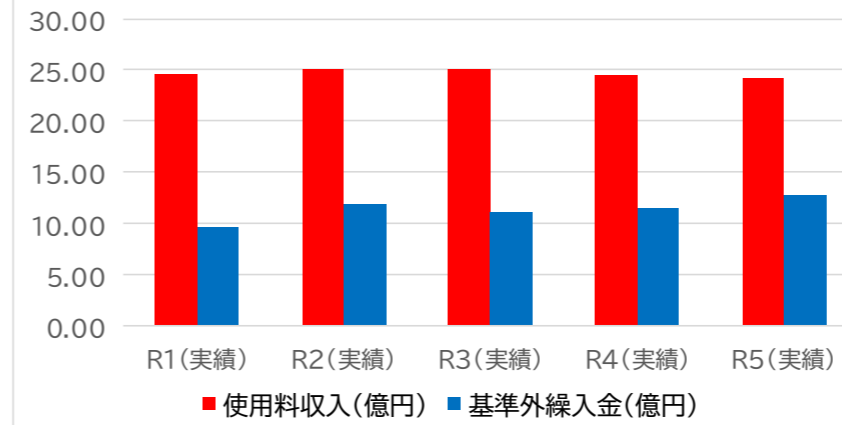
(R5年度実績値)

項目	本市	類似団体平均
企業債残高対事業規模比率(%)	987.29	499.16

(億円)

	R1	R2	R3	R4	R5
春日部市 企業債残高	356.39	349.51	336.85	319.02	300.22

使用料収入及び基準外繰入金



(R5年度実績値)

項目	本市	類似団体平均
他会計補助金のうち、基準外繰入金額(億円)	12.83	4.91

財政計画としては、企業債を着実に償還し、また他会計補助金（基準外繰入金）に大きく依存することがない経営状況が求められています。

経営目標（案）

- ① 計画期間内における経費回収率の向上
- ② 計画期間内における他会計補助金（基準外繰入金）の抑制
- ③ 計画期間内における経常収支比率の向上

第6章 経費回収率向上に向けたロードマップ

「経営健全化に関する指標」等、現行計画で掲げている項目を基に内容を更新し、社会資本整備総合交付金の交付要件を満たす検証を実施する